

令和元年度

江北町教育委員会の権限に属する事務の管理  
及び執行の状況の点検及び評価報告書

令和2年10月

# 目 次

1	はじめに	1
2	江北町教育委員会の活動、会議の運営状況	2
	(1) 教育委員会の会議運営	
	(2) 教育委員の活動	
3	重点目標に対する事業の自己点検・評価一覧	
	(1) 幼児教育センター	3
	(2) 学校教育係	5
	(3) 生涯学習係	7
	(4) 子育て支援係	9
	(5) 総務企画係	11
4	令和元年度点検評価シート	12



## 2 江北町教育委員会の活動内容

### (1) 教育委員会の会議運営

ア 教育委員会 定例会 12回 臨時7回 計19回

イ 議決の状況

- ・ 準要保護認定
- ・ 基本方針計画の策定
- ・ 任命関係
- ・ 教職員人事異動の方針・実施
- ・ 報告、議案の審議
- ・ その時々々の事案

ウ 議事録作成

- ・ 開会及び閉会に関する事項
- ・ 出席委員の氏名
- ・ 会議に出席した者の氏名
- ・ 議決事項
- ・ 教育長会等の報告の要旨
- ・ 議題及び議事の概要
- ・ その他

### (2) 教育委員の活動

ア 諸行事への出席

- ・ 入学式 卒業式 入園式 卒園式 運動会 体育大会  
幼児教育センター 学校行事等への出席
- ・ 学校訪問（幼稚園、小学校、中学校）
- ・ 小中学校授業研究会への出席
- ・ P T A・育友会との意見交換
- ・ 教育委員会以外の会議や大会などへの出席
- ・ 杵西地区教育委員研修会 県内教育委員研修会出席

イ 所管施設訪問

- ・ 学校施設

### 3 主要な施策に対する事業の点検・評価一覧

4段階評価 【A】…十分達成 【B】…ほぼ達成  
【C】…やや不十分 【D】…不十分

《 幼児教育センター 》		教育委員会 評価
基本方針	I-1 (P. 8) 「生きる力」の基礎を培う幼児教育の推進	【A】
主要な施策	・幼児教育・保育内容の充実 ・教員・保育士等の資質の向上	
基本方針	II-1 (P. 18) 幼児教育を支える環境の整備	【A】
主要な施策	・充実した教育活動ができる施設環境の整備 ・特別な支援を要する子への体制整備の充実	
基本方針	V-2 (P. 33) 家庭における子育て支援	【A】
主要な施策	・教育・保育サービスの充実	

#### 〈有識者委員会の意見〉

##### I-1 「生きる力」の基礎を培う幼児教育の推進

- ・他の項目（たとえば「確かな学力」を育む教育の推進）に比べて、成果がわかりにくい印象がある。子供の様子や変容を通じた成果の検証を期待したい。
- ・「インプット（政策をどのように実施したか）」についての工夫改善が目立つ一方で「アウトプット（子供がどう変わったか、幼児教育・保育の質がどのように向上したか）」についての言及が少ないので、評価方法の工夫改善を期待したい。
- ・教員・保育士の資質向上について、保育の振り返りを実践の向上に結びつける方法について、工夫改善を期待したい。

##### II-1 幼児教育を支える環境の整備

- ・業者による点検結果（要対応を指摘されたのがどの程度か）と対応状況（令和元年度内の改修がどの程度進んだか）が分かる形で評価を進めてもらいたい。
- ・支援が必要な子供についての情報が集まりやすいように、さらなる工夫を求めたい（支援会議を通じた職員の理解度向上とあわせて、保護者と困り感を共有できるような周知の工夫を求めたい）。

#### V-2 家庭における子育て支援

- ・ 支援員不足については、早急な解決が求められる。
- ・ 放課後児童クラブの教室確保についても、ネイブルを利用する状況が早急に解決されるよう、施設面の見通しを立てる必要がある。この状況に配慮した形で施設計画が立案されることを期待したい。

《 学校教育係 》		教育委員会 評価
基本方針	I-2 (P. 10) 「確かな学力」を育む教育の推進	【B】
主要な施策	・全国調査、県調査の分析と結果の活用促進【新】 ・学力向上推進教員の配置・活用	
基本方針	I-3 (P. 12) 「豊かな心」を育む教育の推進	【A】
主要な施策	・道徳教育の充実 ・不登校対策の充実	
基本方針	I-4 (P. 16) 「健やかな体」を育む教育の推進	【A】
主要な施策	・安全教育の推進	
基本方針	II-2 (P. 20) 学校教育環境の整備推進	【A】
主要な施策	・江北町「部活動の在り方に関する方針」の 円滑な実施【新】	

〈有識者委員会の意見〉

I-2 「確かな学力」を育む教育の推進

- ・全国学力学習状況調査の中止を受けて、学習状況の把握に関する代替りの手法を準備してもらいたい。
- ・「主体的・対話的で深い学び」ができているかどうかをどう評価するのか（学力テストの成績に成果が現れる前の、教員の授業の変化や児童生徒の学びの変化をどう評価して改善に結びつけるのか）の検討を期待したい。
- ・どのような手立てによって「指導力向上」を図るのか（校内研究や授業研究会の助言がどうやって指導力向上に結びつくのか）について、道筋を検討してもらいたい。

I-3 「豊かな心」を育む教育の推進

- ・「考え・議論する道徳」については、研究発表会を通じて授業づくりを達成したという理解で良いのか。授業力に関する振り返りをしてもらいたい。
- ・SC、SSW の活用状況や、「ビッキールーム」の利用実績などについては具体的な状況を記載して、状況がわかるようにしてもらいたい。

- ・前年と比べてどう改善したか、というような観点での比較ができるような評価を積み重ねてもらいたい(改善点や進捗がわかりにくくなるおそれがある)。

#### I-4 「健やかな体」を育む教育の推進

- ・令和元年度における施設調査の結果について、年度内にどの程度の対応ができて、翌年度に持ち越されたものがあるのか(あればどの程度のものか)を示してほしい。
- ・感染症対策(新型コロナウイルス感染症対応や、例年であればインフルエンザ対応)や熱中症対策といった項目についても、学校の安全・安心を考えるうえで重点項目としてもらいたい。
- ・具体的な安全対策がわかるような書き方や、どのように安全性が向上したかという効果に関する記述などを工夫してもらいたい。

#### II-2 学校教育環境の整備推進

- ・コミュニティ・スクールの活動充実を期待したい(コロナ禍で活動の難しい部分もあるので、工夫・検討を重ねてもらいたい)。
- ・感染症対策にかかる施設の消毒等、十分な体制で進めてもらいたい。
- ・部活動改革については、働き方改革につながる改善を続けてもらいたい。また小学校の働き方改革についても検討を重ねてもらいたい。
- ・施設の長寿命化を見据えた施設計画については、学習環境の適切性のみならず児童生徒の安心安全にも関わることなので、町としての検討を進めてもらいたい。

《 生涯学習係 》		教育委員会 評価
基本方針	Ⅲ-1 (P. 23) 生涯学習体制の確立と活動の推進	【A】
主要な施策	・公民館、佐賀のへそ・ふれあい交流センターの学習環境整備の充実	
基本方針	Ⅲ-2 (P. 24) 青少年の健全育成	【A】
主要な施策	・青少年の主体的な社会参加活動の促進	
基本方針	Ⅲ-3 (P. 25) 文化財の保護・継承	【A】
主要な施策	・町指定文化財の保護と活用	
基本方針	Ⅲ-4 (P. 27) 人権・同和教育の推進	【B】
主要な施策	・人権・同和教育の啓発と人権学習機会の充実	
基本方針	Ⅳ-1 (P. 28) 社会体育施設の整備充実及び管理体制の拡充	【A】
主要な施策	・佐賀のへそ・ふれあい交流センターの指定管理者による運営	
基本方針	Ⅳ-2 (P. 30) 生涯スポーツの推進とスポーツ交流事業の推進	【A】
主要な施策	・ウォーキングコースの活用と利用促進	

〈有識者委員会の意見〉

Ⅲ-1 生涯学習体制の確立と活動の推進

- ・アンケートで得られた要望や意見がどのようなものであったのか、どのように対応を検討しているのかについて、情報を求めたい。またアンケートは現状の利用者を対象にしているものなので、利用の拡大等を目指すのであれば、また別の方法で改善策を探る必要もある。
- ・ネイブルについては4月から学童保育としての利用が始まり、一般利用者にとっては制限が増えた状況にある。コロナ禍含め、現状をふまえた満足度をみる必要性がある。

### Ⅲ-2 青少年の健全育成

- ・大規模なイベント・大会の実施が難しい中で、日常的なスポーツ・文化活動の価値を発信し、取り組みの充実を図ることが望まれる。
- ・スポーツ・文化活動への補助金給付については、申請・給付手続きの簡素化を図るとともに、方法の周知を進めるなどの改善も必要と思われる。

### Ⅲ-3 文化財の保護・継承

- ・町誌編纂は大きな事業なので、引き続き確実に進めていただきたい。
- ・伝統芸能の保存団体については、後継者の確保をはかるための、広がりのあるアイデアが期待される。

### Ⅲ-4 人権・同和教育の推進

- ・コロナ禍で出前講座形式についても変更が求められており、新たな発信方法の検討を進めてもらいたい。
- ・人権標語のロビー展示などについても、SNSの活用や町のホームページなどを活用した情報発信の他、講演会に代わる動画配信の検討、ケーブルテレビの活用など、柔軟な検討が必要と思われる。

### Ⅳ-1 社会体育施設の整備充実及び管理体制の拡充

- ・指定管理者制度が適切に運用されるよう、適切な働きかけをお願いしたい。
- ・利用者アンケートの結果と、それを受けた改善の方向性がわかるような評価にしてもらいたい。

### Ⅳ-2 生涯スポーツの推進とスポーツ交流事業の推進

- ・ウォーキングコースがより良く活用されるよう、駐車スペースをはじめとするアクセスの向上を進めてもらいたい。

《 子育て支援係 》		教育委員会 評価
基本方針	I-4 (P. 16) 「健やかな体」を育む教育の推進	【A】
主要な施策	・学校給食の充実	
基本方針	V-1 (P. 31) 子どもの心身の健やかな成長に資する教育・保育環境の整備	【A】
主要な施策	・民間活力による保育供給量の拡大	
基本方針	V-2 (P. 33) 家庭における子育て支援	【A】
主要な施策	・子どもの健全育成	

〈有識者委員会の意見〉

I-4 「健やかな体」を育む教育の推進

- ・令和元年度における施設調査の結果について、年度内にどの程度の対応ができて、翌年度に持ち越されたものがあるのか（あればどの程度のものか）を示してほしい。
- ・感染症対策（新型コロナウイルス感染症対応や、例年であればインフルエンザ対応）や熱中症対策といった項目についても、学校の安全・安心を考えるうえで重点項目としてもらいたい。
- ・具体的な安全対策がわかるような書き方や、どのように安全性が向上したかという効果に関する記述などを工夫してもらいたい。

V-1 子どもの心身の健やかな成長に資する教育・保育環境の整備

- ・継続的に勤務する保育士の確保が進むよう（人材流出が発生しないよう）、待遇の水準について引き続き検討を期待したい（待遇が不十分で研修を充実させても、研修で育った人材が他に流出する可能性が残るため）。
- ・保育士の確保については、保育者養成課程のある大学等への学校訪問などのような、積極的な活動の充実を期待したい。

#### V-2 家庭における子育て支援

- ・ 支援員不足については、早急な解決が求められる。
- ・ 放課後児童クラブの教室確保についても、ネイブルを利用する状況が早急に解決されるよう、施設面の見通しを立てる必要がある。この状況に配慮した形で施設計画が立案されることを期待したい。

《 総務企画係 》		教育委員会 評価
基本方針	Ⅱ-2 (P. 20) 学校教育環境の整備推進	【A】
主要な施策	・学校運営協議会導入【新】 ・学校教育施設の整備推進	
基本方針	Ⅲ-3 (P. 25) 文化財の保護・継承	【A】
主要な施策	・町誌編さん作業	
基本方針	Ⅳ-1 (P. 28) 社会体育施設の整備充実及び管理体制の拡充	【A】
主要な施策	・社会教育施設の今後の在り方の検討	

〈有識者委員会の意見〉

Ⅱ-2 学校教育環境の整備推進

- ・コミュニティ・スクールの活動充実を期待したい（コロナ禍で活動の難しい部分もあるので、工夫・検討を重ねてほしい）。
- ・感染症対策にかかる施設の消毒等、十分な体制で進めてほしい。
- ・部活動改革については、働き方改革につながる改善を続けてほしい。また小学校の働き方改革についても検討を重ねてほしい。
- ・施設の長寿命化を見据えた施設計画については、学習環境の適切性のみならず児童生徒の安心安全にも関わることなので、町としての検討を進めてほしい。

Ⅲ-3 文化財の保護・継承

- ・町誌編さんは大きな事業なので、引き続き確実に進めていただきたい。
- ・伝統芸能の保存団体については、後継者の確保をはかるための、広がりのあるアイデアが期待される。

Ⅳ-1 社会体育施設の整備充実及び管理体制の拡充

- ・指定管理者制度が適切に運用されるよう、適切な働きかけをお願いしたい。
- ・利用者アンケートの結果と、それを受けた改善の方向性がわかるような評価にしてほしい。

I 「生きる力」(確かな学力、豊かな心、健やかな体)を身につけ、バランスのとれた児童・生徒を育む学校教育の推進

1 「生きる力」の基礎を培う幼児教育の推進

小学校以降の教育や生涯にわたる学習を見通しながら、幼児の心身の発達に即応した経験や活動を通して、自立心や社会性を養い保護者、小学校、地域等との連携を重視し、人間形成の基礎を育みます。

● 主要な施策毎の点検結果及び評価

4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成 果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
幼児教育・ 保育内容の 充実 (幼)	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園教育要領・保育所保育指針の内容について理解を促進し、教育・保育内容の充実に努めます。</li> <li>公立幼稚園として、町内の幼児教育をけん引し、教育・保育の質の向上に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育・保育内容の共通理解を図るために園内研修を重ね、園全体で同じ方向性をもって保育に取り組むことで保育内容の充実に努めました。</li> <li>町内園長会を立ち上げ、情報交換等を行い、各園の課題等を把握しました。</li> <li>2月中旬に三園合同の年長児交流会を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各園の職員同士で情報交換した内容を、どのように活用するか検討が必要です。</li> <li>三園合同の年長児交流会では他園の子ども達との交流が少なかつたため、交流会の進め方の工夫が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三園の中でやはりリーダーとなるのが公立幼稚園の使命だと考えます。個々の園児を理解し、できるだけ足並みをそろえ、保育実践ができるよう工夫してほしいと思います。</li> <li>年長児交流会で子ども達が顔見知りになる事は、小学校へ入学してからスムーズに慣れ親しむ事に繋がると思います。これからも同年齢間の交流ができる機会を年数回とれる様、検討してください。</li> <li>先生方同士の情報交換、共有はとても大切だと思います。共通理解が出来る場をしっかりと作っていただきたいと思います。</li> <li>園長会、職員同士の情報交換により出た課題解消に向けた取組みをひき続き行って下さい。</li> </ul>
教員・保育士等の資質の向上 (幼)	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究主題に沿った保育実践を通じた研修(保育の振り返り及び保育カンファレンス)に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員それぞれが、日々の保育の振り返りを行うことが出来るようになってきました。</li> <li>保育者の研修意欲は高くなっ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りはできていますが、それを次の保育につなげる方法に悩み、保育実践につなげることができないこともあり、今後は実践に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の振り返りは大変重要だと思います。保育士同士が園児個々について互いに報告し合い、共通理解をすることによって次の保育実践に繋げていけると思います。</li> </ul>

令和元年度 点検評価シート

主要な施策	主要な施策の概要	成 果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
	より、実践的指導力の向上に努めます。 ・学びの芽を培うために求められる資質の向上のため、月2回の園内研修を行い、資質の向上に努めます。	ています。	つなげられるような方法や取り組みを考えていくことが必要です。 ・現状の中でも、できるだけ多くの研修に参加できる工夫をしています。	・研修会や職員間の学びあいで資質向上に努めて質の高い教育・保育実践に繋げて下さい。 ・園内研修が定着し、保育者の研修意欲が高まっていることは、すばらしいと思います。保育の場面での更なる工夫を期待します。 ・さらなる指導力向上を目指し、研修に取り組んで下さい。
			4段階評価	A

◆ 課題に対する対応

【幼児教育・保育内容の充実】

- ・各園の情報交換をしていく中で、それぞれの園の取り組みを検証したり、課題を出し合ったりしながら幼児教育の質の向上につなげられるようにしていきます。
- ・定期的に交流の機会を設けて、遊びの共有ができるようにして仲良くなることで、就学後も不安なく過ごせるようにします。

【教員・保育士等の資質の向上】

- ・全員参加での話し合いの時間が取れないため、研修に行った職員が他の職員に伝達講習を行う場を設けるなど、短時間でも実践につながる話し合いができるよう研修の在り方を工夫していきます。

◆ 有識者委員会の意見

- ・他の項目（たとえば「確かな学力」を育む教育の推進）に比べて、成果がわかりにくい印象がある。子供の様子や変容を通じた成果の検証を期待したい。
- ・「インプット（政策をどのように実施したか）」についての工夫改善が目立つ一方で「アウトプット（子供がどう変わったか、幼児教育・保育の質がどのように向上したか）」についての言及が少ないので、評価方法の工夫改善を期待したい。
- ・教員・保育士の資質向上について、保育の振り返りを実践の向上に結びつける方法について、工夫改善を期待したい。

## 2 「確かな学力」を育む教育の推進

学力向上に関する施策等を通じた教育現場の支援やその効果検証を通じて、指導方法の改善・充実を図るとともに家庭・地域との連携を推進するなど、学力向上に向けた総合的な取組を推進します。

また、各教科の基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付けさせるとともに、学んだ知識や技能を活用することを通して、思考力・判断力・表現力等を育成します。

### ● 主要な施策毎の点検結果及び評価

4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成 果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
全国調査、県調査の分析と結果の活用促進 (学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の全国調査、県調査の結果より、国語、算数・数学についての学力や学習状況を把握し、児童生徒の実態に応じた指導法の工夫・改善に取り組みます。また、平成31年度から、県統一による全国学力・学習状況調査のコピー・採点を廃止し、授業改善に向けた校内研修等の一層の充実を図ります。</li> <li>・12月の県調査の結果より、国語、算数・数学、理科、社会、英語の各教科について、学習指導要領の内容の定着状況、1学期からの学習指導の成果や課題を把握し、指導法の工夫・改善を図ります。12月の県調査において、小学校（4・5・6年生〔国語・社会・算数・理科〕実施）は、12区分中8区分で県平均以上を、中学校（1・2年生〔国語・社会・数学・理科・英語〕実施）は10区分中6区分で県平均以上を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国調査や県調査の結果より児童生徒の学力や学習状況を把握し、課題解決に向けた取組内容を共通理解し、全職員で共通実践することができました。</li> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導方法の改善に取り組むことができました。</li> <li>・12月の県調査では、小学校の2区分（6年：国語、理科）、中学校の3区分（2年：社会、理科、英語）で県平均以上でした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらなる授業改善、共通理解、共通実践が必要であると考えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・如何にしたら子どもたちに学習意欲を持たせることができるか？個々の児童生徒の理解と指導方法の工夫・改善、いつの時代も課題としてあげられます。先生方の頑張りに期待します。</li> <li>・各教科の基礎、基本的な事がなかなか定着しない児童・生徒へのさらなる指導法の工夫・改善を期待します。</li> <li>・個々の学力向上に繋がるような指導と生徒の意識改善に取り組んで下さい。</li> <li>・学習能力の向上、深い学び、指導方法の改善により、成果が出てきていると思います。</li> </ul>

令和元年度 点検評価シート

主要な 施策	主要な施策の概要	成 果	自己点検による 事務局の課題	教育委員による指摘・指導
学力向上推進教員 （江北中学校：数学）の 配置・活用 【新】 （学）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上推進教員を配置し、学校の課題に応じた学力向上対策の計画立案、実行、点検の支援等を継続的に行い、児童生徒の主體的な学びと学力向上を目指します。</li> <li>・学力向上推進教員は、TTによる授業支援、モデル授業の提供、校内研究や授業研究会での助言等を通して、教師の指導力向上に向けた支援を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上推進教員が中心となり、PDCAサイクルを意識しながら、各調査の分析や授業改善等、学力向上に向けた取組を進めることができました。</li> <li>・教師の指導力向上に向け、TTによる授業支援、モデル授業の提供、校内研究や授業研究会での助言等を行うことができました。</li> <li>・家庭学習の充実を目的に生徒や保護者向けに学力向上だより「羅針盤」を発行しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の要望を取り入れる方法を検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上推進教員の配置・活用について、大いに活用していただき、数学だけでなく、その成果が他の教科にも波及していくようになることを期待します。</li> <li>・T.Tによる授業支援でよりきめ細な学習環境を整えてほしいです。魅力的な授業の研究に取り組んで頂き学力向上に繋がる事に期待します。</li> <li>・授業参観で拝見する限りでは、授業の準備、研究をしっかりとされて、すばらしいと思います。その成果が生徒個々の学力向上につながるように、更なる工夫、指導をお願いします。</li> <li>・学力向上、教師の指導力向上、問題なく取り組んでいるように思います。</li> </ul>
			4段階評価	B

## 令和元年度 点検評価シート

### ◆ 課題に対する対応

#### 【全国調査、県調査の分析と結果の活用促進】

- ・「全職員による共通理解と共通実践」「学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践」「授業改善に向けた校内研修等の充実」「家庭学習の充実に向けた指導の徹底」に取り組んでいきます。

#### 【学力向上推進教員（江北中学校：数学）の配置・活用【新】】

- ・生徒による授業評価を行い、生徒の要望に対応していくとともに教師の授業力向上につなげていきます。

### ◆ 有識者委員会の意見

- ・全国学力学習状況調査の中止を受けて、学習状況の把握に関する代替りの手法を準備してもらいたい。
- ・「主体的・対話的で深い学び」ができているかどうかをどう評価するのか（学力テストの成績に成果が現れる前の、教員の授業の変化や児童生徒の学びの変化をどう評価して改善に結びつけるのか）の検討を期待したい。
- ・どのような手立てによって「指導力向上」を図るのか（校内研究や授業研究会の助言がどうやって指導力向上に結びつくのか）について、道筋を検討してもらいたい。

### 3 「豊かな心」を育む教育の推進

学校の教育活動全体を通じた道徳教育を家庭や地域と連携して実施することで、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むとともに、郷土の自然や歴史に親しむ態度の育成に努めます。

あわせて、子どもの発達段階に応じ、社会の形成者としての資質・能力を育むための人権に関する正しい知識や人権感覚を身に付けさせ、家庭や地域との連携を図りながら、人権・同和教育を推進します。

不登校については、未然防止や早期発見・早期対応のための体制の充実・強化及び不登校の状況に応じた学校復帰に向けた段階的な支援の充実を図るとともに、家庭や関係機関等との連携強化を進めます。

いじめ問題については、いじめ防止対策推進法に基づき学校の組織的な指導體制の強化とともに、家庭、地域、関係機関等との連携強化を図り、いじめの未然防止や早期発見・早期対応及び被害の最小化、再発防止に向けた取組を充実させます。

令和元年・2年度文部科学省並びに佐賀県教育委員会「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の一環として、道徳の授業改善の研究を進めます。

また、道徳教育加配教員（江北中学校）を配置し、新学習指導要領を踏まえ、全教職員が一体となった道徳教育の推進体制づくりを行うとともに道徳科の改善・充実に努めます。

さらに、児童生徒支援教員（江北中学校）を配置し、学習指導上、生徒指導上又は進路指導上、特別な配慮が必要な児童生徒に対して、その事情に応じた特別な指導を行うとともに、併せて人権・同和教育の推進に係る取組を行います。

令和元年度 点検評価シート

● 主要な施策毎の点検結果及び評価

4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

主要な 施策	主要な施策の概要	成 果	自己点検による 事務局の課題	教育委員による指摘・指導
道徳教育の充実 (学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校全学級で年間1回以上、保護者や地域の方々に道徳の授業を公開します。</li> <li>・学校において指導内容の重点化を図り、道徳教育の全体計画の評価、改善を行います。</li> <li>・小中連携を図りながら、道徳の授業改善の研究を進めます。【新】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月30日の江北町フリー参観デーにおいて、小中学校全学級で保護者や地域の方々に道徳の授業を公開しました。また、猿渡直美氏をお招きし「心の教育講演会」を開催しました。</li> <li>・児童生徒や学校の実態に応じた重点的指導が必要な内容項目の洗い出しを行うことができました。</li> <li>・小中連携を図りながら、「考え、議論する道徳」という新学習指導要領の趣旨を捉えた授業づくりを行い、1月31日に道徳教育研究発表会を行うことができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も取り組みを継続していく必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年間の研究指定ご苦労様です。道徳科としての授業の在り方を研究し、子供たちの豊かな心の発達につながればと期待します。</li> <li>・道徳の授業はもちろん、日常生活の中でも道徳心を養うことができるように、大人達が声の掛け方、行動、実践で自然と子ども達に伝わっていくような環境づくりを目指して下さい。</li> <li>・授業では参観者も一緒に考え、参加できる授業づくりがされていました。引き続き充実した道徳の授業を目指して下さい。</li> <li>・フリー参観デーでの講演会、道徳教育発表会等により、一定の成果があったと思います。</li> </ul>

令和元年度 点検評価シート

主要な 施策	主要な施策の概要	成 果	自己点検による 事務局の課題	教育委員による指摘・指導
不登校 対策の 充実 (学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が、スクールカウンセラーによるカウンセリングを受けることができる体制を整備します。</li> <li>・学校に町費のスクールソーシャルワーカーを1名ずつ配置し、スクールソーシャルワーカーのコーディネートによる家庭や関係機関等が連携・協力した取組を支援します。また、スクールソーシャルワーカーの研修も実施し、資質の向上を図ります。</li> <li>・町福祉課や児童民生委員との連携を図ります。</li> <li>・「別室における学校生活支援事業」を活用し江北中の「ビッキールーム」に常時支援員を配置します。支援員は、児童生徒の困り感に応じて支援を行い、教室復帰を目指します。【新】</li> <li>・不登校児童生徒に対する地域の方の理解を得るために、学校の現状や課題等を各種団体等の会議において発信します。【新】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセリングを希望する児童生徒や保護者が増え、心の安定につながるケースが多くみられました。</li> <li>・町費のスクールソーシャルワーカーの研修を年間3回行い資質の向上を図りました。</li> <li>・学校や町費のスクールソーシャルワーカーを中心として町福祉課や児童民生委員との連携を図りながら、困り感を抱えた家庭への支援にあたることができました。</li> <li>・江北中の「ビッキールーム」は、学級に不適應傾向を示している生徒にとって、段階的に学校生活への適應を図ることのできる場所となりました。</li> <li>・学校運営協議会にて、学校の現状や課題等について話をすることができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度と比べて、不登校生徒数は減少しましたが、不登校児童数は増加しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校の児童生徒をなくすために様々な対策が施されています。まず基本的には児童生徒個々と担任教師のコミュニケーションが大切だと思います。児童生徒の周りの環境を把握しながら、SC・SSWや様々な支援団体を活用し、減少させていけたらと思います。</li> <li>・不登校児童・生徒との信頼関係を築き安心して相談できる環境を整えて個々のケースの根本・原因を探りそれに応じた指導・支援と共に保護者に対する支援も行って頂きたい。</li> <li>・不登校については、個別のケースや早期からの対応が必要なケースもあると思いますので、引き続き、専門家や町と連携を図りながら、生徒、家庭への支援に取り組んで下さい。</li> <li>・不登校生徒の減少、今後も気を緩めずに取り組む必要があります。</li> </ul>
			4段階評価	A

## 令和元年度 点検評価シート

### ◆ 課題に対する対応

#### 【道徳教育の充実】

- ・さらに小中連携を深めながら、授業における指導方法やその工夫を共有していきます。
- ・児童生徒が地域の方と交流できるような体験活動を計画します。
- ・令和2年11月13日に江北小中学校において道徳教育研究発表会を開催します。

#### 【不登校対策の充実】

- ・不登校生徒数は減少（H30:13名→R1:11名）しましたが、不登校児童数は増加（H30:2名→R1:7名）しています。不登校の未然防止、不登校への初期対応をさらに充実させます。

### ◆ 有識者委員会の意見

- ・「考え・議論する道徳」については、研究発表会を通じて授業づくりを達成したという理解で良いのか。授業力に関する振り返りをしてもらいたい。
- ・SC、SSWの活用状況や、「ビッキールーム」の利用実績などについては具体的な状況を記載して、状況がわかるようにしてもらいたい。
- ・前年と比べてどう改善したか、というような観点での比較ができるような評価を積み重ねてもらいたい（改善点や進捗がわかりにくくなるおそれがある）。

令和元年度 点検評価シート

4 「健やかな体」を育む教育の推進

児童生徒の健康や体力の向上については、学校教育・スポーツと生活習慣や食生活に関する指導を関連付け、学校・家庭・地域が連携して取り組みます。子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校においても積極的に食育に取り組みます。

登下校時や校内における事件、事故、災害から子どもを守るため、様々な場面を想定し、学校安全計画に基づいて、子どもの危険予測、危機回避能力等を向上させます。

● 主要な施策毎の点検結果及び評価

4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成 果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
学校給食の充実 (子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養バランスのとれた献立作りに取り組みます。</li> <li>・安全で良質な食材を選定します。</li> <li>・食物アレルギー対応の充実を図ります。</li> <li>・施設設備の維持管理及び安全管理と衛生管理の徹底を図ります。</li> <li>・全学年において、年1回食育の授業を実施します。</li> <li>・異物混入防止対応マニュアルにより異物混入防止及び衛生管理に努め、状況に応じた的確な判断と迅速な対応を行います。</li> <li>・調理施設ごとの異物混入防止対応マニュアルを作成します。【充】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級担任と連携し、授業で取り組んでいる内容を考慮しながら食育授業を実施し、広く様々な知識を身につけることが出来ました。</li> <li>・学校給食センター施設整備について佐賀県建設技術支援機構による劣化診断を実施し、安全管理及び衛生管理の不備について、即時対応可能な箇所については対応を行いました。</li> <li>・施設ごとの異物混入マニュアルの作成については、施設ごとの取り扱いについて細かく明示した内容により、異物が混入しないよう細心の注意をもって調理業務に携わるよう指導を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度に行った施設劣化調査結果で、修繕の指摘が複数箇所ありました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備の定期的な点検は食の安全を図るうえで大変重要なことです。異物混入防止対応マニュアルができたことによりより適切な対応を期待します。</li> <li>・栄養バランスはもとより地場産食材、季節の食材も取り入れ献立作りをして頂き食育にも貢献していると思います。これからも安全安心美味しい給食を目指して下さい。</li> <li>・子ども達の成長に重要な食について学ぶ事はとても大切だと思います。望ましい食習慣をしっかりと身に付けてほしいと思います。保護者にも一緒に学ぶ機会を積極的に作っていただきたいです。</li> <li>・修繕箇所については、予算がつきしだい直していき、できない場所については、注意をしていってください。</li> </ul>

令和元年度 点検評価シート

主要な 施策	主要な施策の概要	成 果	自己点検による 事務局の課題	教育委員による指摘・指導
安全教育の推進 (学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校安全計画に基づき、避難訓練等を実施します。</li> <li>・学校において交通安全教室を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校ともに学校安全計画に基づき、避難訓練等を計画的に実施することができました。</li> <li>・交通安全教室を実施し、交通ルールを守ることの大切さを再確認するよい機会となりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練や交通安全教室等を行った時だけでなく、日頃から意識を持たせる必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、様々な災害が全国各地で発生しており、どこで何が起きるかわからない状況でもあります。安全に対する意識の更なる高揚を図ってほしいです。</li> <li>・通学路の安全確保が進んできましたが、家に近い小道になるとガードレールや歩道が無い等あり、児童・生徒への危険個所の通行の仕方等、徹底指導を図って頂きたいです。</li> <li>・交通安全だけでなく自然災害にも備えが必要です。子ども達と家庭と学校とが一緒に考える機会が必要だと思います。</li> <li>・避難訓練、交通安全指導の実施はもちろんですが、家庭でも取り組めればと思います。</li> </ul>
			4段階評価	A

## 令和元年度 点検評価シート

### ◆ 課題に対する対応

#### 【学校給食の充実】

- ・施設整備の劣化診断結果により、既存予算が確保されていなかったため、実施できなかった修繕箇所は、令和2年度以降に対応します。

#### 【安全教育の推進】

- ・安全教育について避難訓練や交通安全教室を実施した時だけではなく、機会を捉えて児童生徒への指導をしていきます。

### ◆ 有識者委員会の意見

- ・令和元年度における施設調査の結果について、年度内にどの程度の対応ができて、翌年度に持ち越されたものがあるのか（あればどの程度のものか）を示してほしい。
- ・感染症対策（新型コロナウイルス感染症対応や、例年であればインフルエンザ対応）や熱中症対策といった項目についても、学校の安全・安心を考えるうえで重点項目としてもらいたい。
- ・具体的な安全対策がわかるような書き方や、どのように安全性が向上したかという効果に関する記述などを工夫してもらいたい。

## II 教育活動を支える教育環境の整備・充実

### 1 幼児教育を支える環境の整備

幼児一人一人の資質・能力を育んでいくために、幼児の自発的な活動としての遊びを生み出すために必要な環境の整備に努めます。

● 主要な施策毎の点検結果及び評価

4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成 果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
充実した教育活動ができる施設環境の整備(幼)	<ul style="list-style-type: none"> <li>業者による園庭遊具の点検を実施し、優先順位を設定して改修します。</li> <li>園児の安心・安全の確保のため、老朽化しているテラスの改修を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度はブランコの入れ替えを行いました。新しいブランコの使い方などを再確認して安全に遊べるようにしました。</li> <li>老朽化しているテラスを改修しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業者による点検のみではなく、危険な個所がないかなどを日々の保育を行いながら確認していく必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全安心な施設・遊具であれば、思い切った保育ができると思います。</li> <li>子ども達が毎日安心・安全に活動ができる様に定期点検を習慣化して下さい。危険個所の把握をした場合は早急な対応で改修・修理を行って下さい。</li> <li>日頃からの点検が一番重要です。早期に発見できるようにお願いします。</li> <li>事故が発生しないよう継続して点検して下さい。</li> </ul>

令和元年度 点検評価シート

主要な施策	主要な施策の概要	成 果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
特別な支援を要する子への体制整備の充実 (幼)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期に1回計画的な園内支援会議を行い、緊急な場合はその都度支援会議を開き支援の方法を検討していきます。</li> <li>・専門的な役割を担う職員の積極的な研修への参加を促します。</li> <li>・支援が必要な子ども・家庭への支援を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内支援会議等を行うことで、職員間での共通理解も深まり、徐々に保護者支援へつながることも増えてきています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年々支援を要する子どもが増えており、担任だけに負担がかからないようにするために、しっかり情報共有を行うことが必要だと考えています。保護者支援の方法を工夫し、早期に専門機関につなげ、その子にあった療育の方法を探っていく必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援が必要な子どもについては、保護者との連携を密にし、また、専門家の指導を仰ぎながら保育実践していく必要があります。</li> <li>・特別な支援を必要とする子どもへの専門的な対応の仕方を職員間で共有しあうと共に、意外と保護者が気づいていなかったり、育てにくい子どもとしてしか認識していなかったりするので、保護者ともその子どもの状態と支援の方法を共有できる様に工夫してください。</li> <li>・先生方の専門的な研修への参加を積極的に行い、早期支援に繋げて頂きたいです。</li> <li>・引き続き、会議研修を行ってください。</li> </ul>
			4段階評価	A

◆ 課題に対する対応

【充実した教育活動ができる施設環境の整備】

- ・遊具点検の結果に基づき、危険度の高い遊具から取り換え、または修理ができるように計画的に整備をしていきます。

【特別な支援を要する子への体制整備の充実】

- ・専門的な対応の仕方などを学ぶ機会を積極的に取り入れながら、園全体で対応ができるような体制整備をしていきます。

◆ 有識者委員会の意見

- ・業者による点検結果（要対応を指摘されたのがどの程度か）と対応状況（令和元年度内の改修がどの程度進んだか）が分かる形で評価を進めてもらいたい。
- ・支援が必要な子供についての情報が集まりやすいように、さらなる工夫を求めたい（支援会議を通じた職員の理解度向上とあわせて、保護者と困り感を共有できるような周知の工夫を求めたい）。

## 2 学校教育環境の整備推進

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を設置し、学校と地域が同じ目標を持ち、一体となって子どもを育てていくことを目指します。また、小中一貫教育に向けた取組、特別支援教育や英語教育の充実等、児童生徒への支援をより充実させるために学校教育環境の整備推進に取り組みます。また、学校徴収金システムと事務補助員の配置を継続し、教職員の多忙化解消に努めます。

### ● 主要な施策毎の点検結果及び評価

4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成 果	自己点検による 事務局の課題	教育委員による指摘・指導
学校運営協議会（コミュニティ・スクール）導入 【新】 （総）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていきます。</li> <li>・学校運営協議会を年4回開催します。</li> <li>・地域が学校の応援団となるように学校運営協議会を通して学校の現状や運営方針について理解を深めます。</li> <li>・地域への情報発信に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域団体の代表を協議会構成委員として、年5回協議会を開催しました。</li> <li>・地域が学校の応援団となるように「江北っ子応援団」を試験的に創設しました。新学期的あいさつ運動への協力者を募集し、小学校のミシン授業補助や野菜作り補助の協力者を募集・実施につなげることが出来ました。</li> <li>・地域への情報発信として、これらをまとめたパンフレットを作成しました。全戸配布を令和2年4月分館長会で依頼する予定です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後「江北っ子応援団」を具体的にどのように活用していくか検討が必要です。</li> <li>・学校運営協議会の活動について、パンフレット以外の情報発信方法を検討する必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会の中で、学校として協力してほしい項目を具体的に上げ、安定した協力体制を作り上げてください。</li> <li>・「江北っ子応援団」のミシン授業補助や野菜作り補助はとても良い活動だと思います。地域の方の学校への関わりができ、一層、江北っ子を地域で育てていく実感を持ってもらう事ができると思います。これからもいろんな場面で子ども達と地域の方々との充実した取組みに発展していく事を期待します。</li> <li>・「江北っ子応援団」の活動を広報誌や放送等を利用し、町全体に情報発信しながら進めていただきたいと思います。</li> <li>・他校の取組み等も参考にして、円滑に運営できる様に取組んで下さい。SNSの配信も良いと思います。</li> </ul>

令和元年度 点検評価シート

主要な施策	主要な施策の概要	成 果	自己点検による 事務局の課題	教育委員による指摘・指導
<p>江北町「部活動の在り方に関する方針」の円滑な実施【新】 (学)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動を通して、生徒の自主性、協調性、責任感、連帯感を育成します。</li> <li>方針に則り、部活動の休業日及び活動時間等を適切に設定します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江北町「部活動の在り方に関する方針」に則り、江北中学校において部活動を運営することができました。</li> <li>適切な活動時間にすることで、江北中学校の時間外勤務時間が大幅に少なくなりました。(H30:60.6h →R1:50.2h)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続的に取り組んでいく必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な活動がなされているようで安心しました。先生方も健康に十分注意し、ご指導のほどよろしくお願ひします。</li> <li>限られた時間内で有効な活動ができるように効率よく動き工夫する事で自主性、協調性、責任感、連帯感が育成される事を期待します。</li> <li>部活動の活動時間、休業日が定着してきているように思います。引き続き適切に活動してください。</li> <li>活動時間、休業日を守るよう取組んでください。</li> </ul>
<p>学校教育施設の整備推進 (総)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長寿命化を見据えて今後の学校教育施設の在り方について検討します。</li> <li>学校教育施設の個別施設計画(長寿命化計画)を策定するため、各施設の劣化診断を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校、幼児教育センターに関しては業者委託し各施設の劣化診断を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>劣化診断結果と江北町人口ビジョン(本庁の独自人口推計)をもとに今後の学校教育施設の在り方について具体的な検討が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全安心な施設・設備の中で充実した活動ができる学校でありたいですね。</li> <li>学校教育施設は通常の運用とは別に、災害時に避難所になりうる事も考え整備推進してほしいと思います。</li> <li>診断結果と町の未来をしっかりと見据えての協議が必要だと思います。</li> <li>劣化診断等計画的に検討し、対応していければと思います。</li> </ul>
			4段階評価	A

◆ 課題に対する対応

【学校運営協議会（コミュニティ・スクール）導入【新】】

- ・「江北っ子応援団」の今後の在り方を検討します。
- ・地域への情報発信の方法として、江北町ホームページに専用ページを用意し、イベントがあればフェイスブックで投稿するなど、情報媒体を活用した方法を検討します。

【江北町「部活動の在り方に関する方針」の円滑な実施【新】】

- ・今後も江北町「部活動の在り方に関する方針」に則り、部活動の運営をしていきます。

【学校教育施設の整備推進】

- ・施設の劣化状況や今後の人口推計など、在り方検討にかかる資料が集まりつつあり、令和2年度に学校教育施設の在り方を決定する予定です。

◆ 有識者委員会の意見

- ・コミュニティ・スクールの活動充実を期待したい（コロナ禍で活動の難しい部分もあるので、工夫・検討を重ねてもらいたい）。
- ・感染症対策にかかる施設の消毒等、十分な体制で進めてもらいたい。
- ・部活動改革については、働き方改革につながる改善を続けてもらいたい。また小学校の働き方改革についても検討を重ねてもらいたい。
- ・施設の長寿命化を見据えた施設計画については、学習環境の適切性のみならず児童生徒の安心安全にも関わることなので、町としての検討を進めてもらいたい。

### Ⅲ 社会教育・生涯学習の振興、歴史や文化の継承と保存活用

#### 1 生涯学習体制の確立と活動の推進

多様化する様々な学習ニーズに応えるために、生涯学習体制の確立と学習活動を推進します。

● 主要な施策毎の点検結果及び評価

4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成 果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
公民館、佐賀のへそ・ふれあい交流センターの学習環境整備の充実(生)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・快適な学習環境整備のための利用者アンケートを実施します。</li> <li>・ネイブル指定管理者との連携体制(会議の開催、施設管理)を強化します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイブル来館者及び施設利用者へアンケート調査の結果、110件の回答があり、利用者からの意見や要望を把握することができました。</li> <li>・連絡調整会議を2回実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの集計結果を受け、利用者からの意見・要望事項についての対応が必要となります。</li> <li>・連絡調整会議内で検討が必要な事項について対応が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの町民が活用しやすい施設でありたいですね。</li> <li>・例えば、もっと他の図書館との図書の貸借を利用し、絵本以外の蔵書を増やす事で大人の利用が増えるのではないのでしょうか。図書館利用者のニーズを掘り下げて、効果的な施設活用を行って下さい。</li> <li>・アンケート結果をしっかりと利用し、改善に努めてください。</li> <li>・アンケート調査を精査して、利用者が快適に使用できる施設にしていければと思います。</li> </ul>
			4段階評価	A

## 令和元年度 点検評価シート

### ◆ 課題に対する対応

#### 【公民館、佐賀のへそ・ふれあい交流センターの学習環境整備の充実】

- ・アンケート結果を受け、指定管理者と連携しながら利用者に望まれる整備の充実をおこないます。

### ◆ 有識者委員会の意見

- ・アンケートで得られた要望や意見がどのようなものであったのか、どのように対応を検討しているのかについて、情報を求めたい。またアンケートは現状の利用者を対象にしているものなので、利用の拡大等を目指すのであれば、また別の方法で改善策を探る必要もある。
- ・ネイブルについては4月から学童保育としての利用が始まり、一般利用者にとっては制限が増えた状況にある。コロナ禍含め、現状をふまえた満足度をみる必要性がある。

令和元年度 点検評価シート

2 青少年の健全育成

青少年の豊かな創造性と強い意志力を培うとともに、家庭・学校・地域社会が連携し一体となり、地域ぐるみで共働して、地域社会に貢献する青少年の健全育成を図ります。

● 主要な施策毎の点検結果及び評価

4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成 果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
青少年の主 体的な社会 参加活動の 促進 (生)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の社会参加を推進します。</li> <li>・児童生徒のスポーツ・文化の推進を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民運動会は中止になりましたが、総合型地域スポーツクラブ等での各種活動等により参加が図られました。</li> <li>・スポーツ・文化活動において、九州・全国規模大会への参加 19 件に補助金を支出しており、過去最高の件数となりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広い周知が必要です。</li> <li>・申請から給付までの要綱が煩雑で分かりにくいとの問い合わせがあったため、要綱の見直しが必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ活動や文化活動において・日頃から地域の指導者の皆様には子ども達のご指導ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。</li> <li>・スポーツ・文化育成費補助金制度の申請から給付まで時間がかかっていた時があった様なので、迅速な対応を心掛けて頂きたいです。</li> <li>・各種のスポーツ団体等に育成費補助金制度の案内が必要だと思います。</li> <li>・補助金申請給付までの手続き見直しを図り、利用者への円滑な給付取り組んで下さい。</li> </ul>
			4段階評価	A

## 令和元年度 点検評価シート

### ◆ 課題に対する対応

#### 【青少年の主体的な社会参加活動の促進】

- ・ 広報等により各種活動、大会等の周知により参加の推進をおこないます。
- ・ スポーツ・文化育成費補助金制度の周知と、申請者にも分かり易い要綱への見直しを検討します。

### ◆ 有識者委員会の意見

- ・ 大規模なイベント・大会の実施が難しい中で、日常的なスポーツ・文化活動の価値を発信し、取り組みの充実を図ることが望まれる。
- ・ スポーツ・文化活動への補助金給付については、申請・給付手続きの簡素化を図るとともに、方法の周知を進めるなどの改善も必要と思われる。

令和元年度 点検評価シート

3 文化財の保護・継承

先人から育み、継承されてきた文化財を後世へ伝えていくとともに、郷土に残る文化財の保護と後継者育成を推進していきます。

● 主要な施策毎の点検結果及び評価

4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成 果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
町指定文化財の保護と活用 (生)	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持管理補助金を交付し、管理者と共に文化財の保護を図ります。</li> <li>広報誌等で町指定文化財のPRを行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金を活用し、文化財の適切な保護をおこなうことができました。</li> <li>また、町のHPにおいて各文化財を写真付きで紹介し広報につとめました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>祖子分面浮立について、後継者育成に不安があると相談が 있습니다。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財の保護については、十分な補助金が必要です。</li> <li>後継者育成不足については、DVD等に残す等手段を駆使して後世に伝え残す様に支援をお願いしたい。</li> <li>後継者については、地区だけの課題ではなく町や学校が推進、努力できるような仕組みを作っていく必要があります。</li> <li>伝統芸能がある地区には引き続き支援をしていく必要があります。</li> </ul>
町誌編さん作業 (総)	<ul style="list-style-type: none"> <li>編さんに係る会議を最低月1回は開催し、刊行計画の進捗確認や今後の課題等について、各委員へ諮りながら編さん作業を進めていきます。</li> <li>語り継ぎたい地区の物語・歴史の地区誌編さんを行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月1回会議を行う中で、刊行計画や進捗の共通認識を持つことができ、令和元年度中に町誌の原稿を7割書き上げることが出来ました。</li> <li>町誌の内容として地区誌部分を設定しており、35地区で語り部会（区長から区民代表として語り部の方を数名選出）をそれぞれ開いていただき、地区誌ライターの方々から地区誌原稿を8割書き上げていただいています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原稿執筆者が複数いるため、文体や内容の重複等がみられています。これらを加除修正していく必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町誌編纂大変ご苦勞様です。出来上がりを楽しみにしています。</li> <li>語り継がれる物語や歴史の町誌が魅力ある物になる様、写真や挿絵も織り込んで頂きたいです。</li> <li>重複がないよう宜しくお願いします。</li> <li>順調に進行している様に思います。</li> </ul>
			4段階評価	A

◆ 課題に対する対応

【町指定文化財の保護と活用】

- ・祖子分面浮立の後継者不足問題などの後方支援を行っていきます。

【町誌編さん作業】

- ・次年度は町誌編さんに監修を導入し、全体を通して文章のトーンを合わせ、内容の加除修正を担っていただく予定としております。

◆ 有識者委員会の意見

- ・町誌編さんは大きな事業なので、引き続き確実に進めていただきたい。
- ・伝統芸能の保存団体については、後継者の確保をはかるための、広がりのあるアイデアが期待される。

令和元年度 点検評価シート

4 人権・同和教育の推進

21世紀は人権の世紀であり、あらゆる差別の撤廃のため人権・同和教育の啓発と学習機会を充実します。

● 主要な施策毎の点検結果及び評価

4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成 果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
人権・同和教育の啓発と人権学習機会の充実 (生)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・同和教育啓発の研修会を開催します。</li> <li>・広報誌等による啓発を図り学習機会の充実を図ります。</li> <li>・学校と連携し、人権週間に子どもたちが作成した人権標語等を公民館ロビーに展示します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のリーダー的立場にある公民分館長を対象に研修会をおこなったことで意識の高揚を図ることができました。</li> <li>・広報誌「ふれあい」と町の広報において啓発をおこないました。</li> <li>・人権標語等のロビー展示ができませんでした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会や啓発の内容について、毎年同じではなく時代に対応した内容にする必要があります。</li> <li>・展示時期を逃さないよう計画的な実施が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・同和教育の推進を図るためには、様々な啓発活動が重要です。できれば多くの町民が参加できる内容を検討しては。</li> <li>・人権・同和教育に関しては世代間のギャップを感じる時があり、地域のリーダー的立場の方でも普通に差別的発言をされた時があったので、どういう言葉が差別になるのかを明確に伝えていく必要があると思います。それより身近な内容で啓発活動を推進していただきたいと思います。</li> <li>・学校の人権・同和教育と連携しながら、子どもと保護者が一緒に学ぶ機会があると良いと思います。</li> <li>・研修会や広報掲載により啓発されていると思います。人権標語のロビー展示はできるだけ行ってください。</li> </ul>
			4段階評価	B

## 令和元年度 点検評価シート

### ◆ 課題に対する対応

#### 【人権・同和教育の啓発と人権学習機会の充実】

- ・一人一人の人権が大切にされる明るい地域社会づくりを積極的に推進するために、その時代や世間の状況に対応した研修会を開催します。
- ・公民館ロビーの展示について、季節や時期に応じた展示ができるよう、計画的におこなっていきます。

### ◆ 有識者委員会の意見

- ・コロナ禍で出前講座形式についても変更が求められており、新たな発信方法の検討を進めてもらいたい。
- ・人権標語のロビー展示などについても、SNS の活用や町のホームページなどを活用した情報発信の他、講演会に代わる動画配信の検討、ケーブルテレビの活用など、柔軟な検討が必要と思われる。

## IV 夢、感動と活力を生むスポーツの振興

### 1 社会体育施設の整備充実及び管理体制の拡充

町内の社会体育施設を有効に活用し、誰もが生涯を通じて目的に応じたスポーツに親しむことのできる環境づくりに努めます。

● 主要な施策毎の点検結果及び評価

4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成 果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
佐賀のへそ・ふれあい交流センターの指定管理者による運営 (生)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間のノウハウを活用し、サービスの向上を図ります。</li> <li>・効率的、効果的な維持管理と経費削減に努めます。</li> <li>・利用者ニーズに対応した自主事業等を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートを実施し、利用者の満足度向上に向けた運営につなげています。</li> <li>・日常点検を定期的に行うことで、破損や故障の未然防止につながり、施設の維持及び管理にかかる経費の削減を図ることができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な運営がおこなわれており、引き続き指定管理者と連携しながら運営をおこなっていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の在り方は、使いやすさと安全性だと思います。町民に愛される施設でありたいですね。</li> <li>・ネイブルに関しては町外からの利用も推進されて利用者のニーズにも対応した事業を実施されていると思います。町外利用者の高校生吹奏楽部の練習利用の繋がりで、演奏を聴く機会をつくる等、若者の応援と夢を持つ子ども達の夢発見の場になればと思います。(昨年のおもてなしの公園での幼・保・中・高校生の演奏は良かったです。)</li> <li>・利用者のニーズに応じた運営を引き続きお願いします。</li> <li>・特に問題はないと思います。施設の適切な運営を続けてください。</li> </ul>
社会教育施設の今後の在り方の検討 (総)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育施設の整備推進にあわせ、社会教育施設全体の在り方について検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイブルに関しては業者委託、それ以外の社会体育施設に関しては職員で各施設の劣化診断を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この結果と江北町人口ビジョン(本庁の独自人口推計)をもとに今後の社会教育施設の在り方について具体的な検討が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化してきた施設につて、利用頻度や安全性等を考え、慎重に検討する必要があると思います。</li> <li>・劣化がみられる箇所の点検・補修は事故が発生する前に早急に改善願いたいです。</li> <li>・江北町民の利用と合わせ、町民以外の利用も積極的に視野に入れながら検討する必要があると思います。</li> <li>・引き続き検討が必要です。</li> </ul>
			4段階評価	A

◆ 課題に対する対応

【佐賀のへそ・ふれあい交流センターの指定管理者による運営】

- ・今後も指定管理者と連携しながら適正な運営をおこなっていきます。

【社会教育施設の今後の在り方の検討】

- ・施設の劣化状況や今後の人口推計など、在り方検討にかかる資料が集まりつつあり、令和2年度に社会体育施設の在り方を決定する予定です。

◆ 有識者委員会の意見

- ・指定管理者制度が適切に運用されるよう、適切な働きかけをお願いしたい。
- ・利用者アンケートの結果と、それを受けた改善の方向性がわかるような評価にしてもらいたい。

## 2 生涯スポーツの推進とスポーツ交流事業の推進

健康で心豊かな人づくりを目指し、各世代に応じたスポーツ・レクリエーション活動とスポーツ交流事業を推進します。

### ● 主要な施策毎の点検結果及び評価

4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成 果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
ウォーキングコースの活用と利用促進 (生)	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康増進を図るため、ふれあいウォーキングを実施します。</li> <li>健康ポイント制度との連携によるコースの利用促進を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大字ごとに設けたウォーキングコースを利用し、ふれあいウォーキングを毎月開催しました。毎回10名程の参加があり、開催日以外でもコースを利用した健康増進に励まれています。</li> <li>県民カレッジ「夢パレットさが」や健康ポイント制度などで幅広く活用されました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業終了後も引き続きコースを活用してもらえるか課題です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングコースの利用価値は高いと思います。コース表示を道路上だけでなく、立て看板等でできないか。スタート地点を表示したコース地図を作製。</li> <li>ウォーキングコースの目印の劣化により、そのコースの周辺地図による案内板と夜でも安全に歩けるウォーキングコースの設置を検討してもらいたい。</li> <li>コースの利用、活用の案内を継続して行ってもらいたいです。</li> <li>コースの活用、健康ポイント制度との連携等、利用促進に努めてください。</li> </ul>
			4段階評価	A

### ◆ 課題に対する対応

#### 【ウォーキングコースの活用と利用促進】

・ふれあいウォーキングの開催は令和元年度までの実施となりますが、引き続き各地区においてコースを活用してもらえるように啓発をおこなっていきます。

### ◆ 有識者委員会の意見

・ウォーキングコースがより良く活用されるよう、駐車スペースをはじめとするアクセスの向上を進めてもらいたい。

## V 子ども・子育て支援事業の推進

### 1 子どもの心身の健やかな成長に資する教育・保育環境の整備

家族形態や就労形態が多様化するなど社会情勢の変化に伴い、乳幼児保育、障がい児保育の充実と共に、延長保育、一時保育など保育に対する多様なニーズがあります。

子ども・子育て支援法により、保育所入所の条件が緩和されたことで未満児の入所希望が年々増加傾向にあり、保育施設の拡充や地域型保育事業の新たな取組が必要となってきています。

また、子どもを持ちたい人が安心して産み育てられる環境づくりをするためには、子育てと就労・社会参加の両立支援が必要不可欠であり、子育てと就労支援の柱となるような保育所の整備と自主的な運営改善を進める必要があります。

● 主要な施策毎の点検結果及び評価 4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成 果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
民間活力による保育供給量の拡大 (子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>永林寺保育園の増改築に伴う保育所整備補助を行い、11名の定員増を行います。</li> <li>江北ひかり保育園、永林寺保育園及び小規模保育所なのはなが行う職員の資質向上のための取り組みを積極的に支援し、保育の質の底上げに努めます。【新】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>永林寺保育園の増改築に伴う保育所整備補助を行い、令和元年10月に新園舎整備により、定員90名から定員101名と11名の定員増を行いました。</li> <li>園長会を令和元年8月から月1回程度開催し、江北町幼児教育センター園長、江北ひかり保育園及び永林寺保育園園長と情報交換を行い各園の職員の資質向上のための取組みを積極的に支援し、保育の質の底上げに努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育需要量の増大に対する、保育士の確保が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も待機児童が増える可能性もあり、保育士の確保等と共に保護者のニーズに応える事業を検討ほしい。</li> <li>保育士募集キャンペーンは保育士確保の手立てが有効であったか検討が必要です。県外の短・大学への募集も考えてみてはどうでしょうか。</li> <li>保育士確保が進むように、色々なところに情報発信するなど工夫が必要です。</li> <li>待機児童が生じたのは残念でしたが、保育施設の充実により改善されればと思います。</li> </ul>
			4段階評価	A

## 令和元年度 点検評価シート

### ◆ 課題に対する対応

#### 【民間活力による保育供給量の拡大】

- ・令和元年10月からの保育の無償化により保育需要量が増大しました。令和2年4月1日時点で3名の待機児童が生じ、保育士が不足するため保育士募集キャンペーン及び就職支援給付金制度を活用し、保育士の確保に努めます。

### ◆ 有識者委員会の意見

- ・継続的に勤務する保育士の確保が進むよう（人材流出が発生しないよう）、待遇の水準について引き続き検討を期待したい（待遇が不十分で研修を充実させても、研修で育った人材が他に流出する可能性が残るため）。
- ・保育士の確保については、保育者養成課程のある大学等への学校訪問などのような、積極的な活動の充実を期待したい。

令和元年度 点検評価シート

2 家庭における子育て支援

2020年度から2024年度の5ヵ年度を事業計画期間とした次期子ども・子育て支援事業計画の策定を行い、子育て支援施策の更なる展開を推し進めます。また、国の子ども・子育て支援事業を活用して、子育てに関する保護者のサポートを行います。

● 主要な施策毎の点検結果及び評価 4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
教育・保育サービスの充実(幼)	・幼稚園保護者の急病や育児疲れ等に伴う一時的、緊急的なニーズに応えるため、平日は幼稚園終了後の14:00～17:00までの3時間、長期休業中は8:30～17:00までの8.5時間、教育課程に基づいた教育を行います。【充】	・長期休業中の預かり保育を夕方まで伸ばしたことで、働いている保護者が安心して預けることができるようになりました。今後も継続できるような人員の確保が不可欠です。 ・教育課程に基づいた活動ができるように、預かり保育の職員との連携を密に行うようにします。	-	・教育・保育サービスの充実について、今後ともご協力のほど宜しくお願いします。 ・このサービスが継続していけるように保育士の安定的な確保と資質と待遇の向上を検討してもらいたいです。 ・預かり保育が継続できるよう人員確保を引き続きお願いします。 ・保育士の確保、保護者ニーズには答えていると思います。預かり保育の延長により、保育士の負担が増えないように配慮が必要です。
子どもの健全育成(子)	・保護者の就労等により、放課後留守家庭となる小1～小6の児童を対象に放課後児童クラブを実施します。また、長期休業中は1クラス増と特別支援員を増員することで、特別な配慮を要する児童への支援をより充実させます。【充】	・うるる2教室、小学校2教室を使い、小1～小6の児童を対象に放課後児童クラブを実施しました。登録人数は175名でした。特別支援員を増員させ、特別な配慮を要する児童への支援をより充実させることができました。	・利用者数の増加と特別な配慮を要する児童の増加により、教室及び支援員が不足しました。	・更に特別支援委員の増員が必要であれば、早急に対応すべきではないでしょうか。 ・教室不足により、次年度からネイブルへ2教室が移動する子ども達の安全面を十分に考慮して行って頂きたいです。 ・利用者の安全、支援員の負担に配慮した人員確保が必要です。 ・児童数の増加により支援員の疲労が増えないか心配です。
			4段階評価	A

## 令和元年度 点検評価シート

### ◆ 課題に対する対応

#### 【教育・保育サービスの充実】

- ・特にありません。

#### 【子どもの健全育成】

- ・教室及び支援員の不足を解消するため、次年度は、江北町ふれあい交流センターネイブルに2教室、支援員の増員を行います。

### ◆ 有識者委員会の意見

- ・支援員不足については、早急な解決が求められる。
- ・放課後児童クラブの教室確保についても、ネイブルを利用する状況が早急に解決されるよう、施設面の見通しを立てる必要がある。この状況に配慮した形で施設計画が立案されることを期待したい。